

2022年度 事業報告書

社会福祉法人 芙蓉の家

社会福祉法人 芙蓉の家 令和4年度 事業報告書(案)

令和4年度におきまして、当法人が実施いたしました事業実施の概要は次の通りでありましたので御報告致します。

1. 運営

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第二種社会福祉事業

(イ) 障害福祉サービス事業の経営

(就労継続B型 松永作業所、徳島作業所)

(共同生活援助 びすけっと、さぼーと)

(ロ) 特定相談支援事業の経営 (さぼーと)

(ハ) 老人デイサービス事業の経営 (さぼーと、みらくる)

(2) 公益を目的とする事業

(イ) 居宅介護支援事業 (さぼーと)

(3) 収益を目的とする事業

(イ) 自立支援型共生ホーム (さぼーと) の設置経営

2. 事業計画の実施状況

A. 法人全体としての取り組み

(1) 所属課会議の充実

各事業所の管理者(係長)を集めた会議は、現状報告、本部からの伝達事項、本部への申請事項をするだけにとどまることもなくミニケース会議を行い色々な事象に対しての話し合いを行う場に成長した。ただ、各事業所の長所と短所を明確するための忌憚のない前向きな意見を出し合う場には至らなかったように思う。

各事業所の所長が各事業所の今後の方向性等をしっかりと見極め、長所を生かした事業所運営を行っていけるような長所と短所を考えたことは収穫であった。

(2) 職能制度の昇格審査基準

昇格での面接は特に比重が大きいので、昇格時の面接の審査基準表

(昇格面接の審査基準)を作成して、職能の昇格をより厳正に審査できるようにした。今後これをもとに面接官は面接を行う。

(3) コロナ対応・資格取得等への奨励と賞賛

昨年度に続き、資格取得に対する奨励と賞賛は実施します。

また、新型コロナウイルス感染症により安定した事業運営をするのが難しい中で、ワクチン接種や利用者・家族の状況確認等の対応に励み尽力した事業所等の職員は賞賛にあたいます。よって、コロナ表彰を行います。

(4) 規程の見直しと制定(継続事業)

理事会において規程等の全面または一部改正の提案を行い承認していただきました。また、各規程とも年度末に実施する職員全体会議にて開示し周知をしました。今後も適正に運用します。

B. 各事業所での取り組み(継続事業)

(1) 4S(整理・整頓・清掃・清潔)運動月間

令和4年度は11月から10月に4S運動月間を変更した。4S月間はすでに定着しているので問題なく実施された。各事業所で4Sチェック表をもとに大掃除を行いました。全職員真剣に取り組んでいただき、整理整頓も含め環境整備を行うことができました。また、ロボット掃除機の大掃除は年2回(5・10月)実施した。

(2) 健康づくりへの強化

「ひろしま企業健康宣言事業所」の認定事業所として、健康づくりの職員担当を決め定期健診結果での再受診、喫煙分離、クラブ活動、健康づくりの講演企画を行った。職員の心身の健康作りに寄与した。

(3) 内部研修の強化(新規事業)

所属課ごとに1年間のテーマを設定して取り組んでもらいました。職員のモチベーションと質の向上を図っていくことができたと考えます。WEB等利用した色々な勉強方法を考える必要がある。

C. 施設整備事業と修繕事業(新規事業)

(1) 松永作業所の照明器具の取り換え工事の実施

年度早々に作業室や事務所をLED照明器具に取り換えることができた。

(2) デイサービスセンターさぼーとの特殊浴槽取替工事

JKAの補助金を受けて特殊浴槽取替工事を無事完了することができた。今後、安定した高齢者への入浴サービスの提供が可能になりました。

(3) 徳島作業所の施設整備とグループホームびすけつとの移転等

徳島作業所の施設整備とグループホームびすけつとの移転は、両方の施設整備として日本財団の補助事業に申請を上げた。しかし、厳しい結果になった。引続き、日本財団だけでなく他の補助事業団体も視野に入れながら施設整備を進めていきます。

(4) サーバー機器の交換整備

サーバー機器が交換の時期を迎えてはいたが、あまりにも高い金額の提示が業者よりあった。よって、令和4年度は見送った。ただ、不具合も多く出ていたので、次年度以降には予算を明確にして交換する必要がある。

3. 運営の実施状況

(1) 理事会

①日時 2022年 6月 9日 10時30分 ~ 12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

出席 理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

○第1号議案 令和3年度 事業報告書、計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録について

○第2号議案 社会福祉充実計画について

○第3号議案 公益財団法人JKAの補助金交付決定の受諾について

○第4号議案 公益財団法人JKAの補助事業の契約と業者選定について

○第5号議案 給与規程のその他の手当に二項を追加とグループホームさぼーとへの入居希望者3名について

○第6号議案 定時評議員会の招集について

②日時 2023年 3月23日 10時00分 ~ 12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

出席 理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 2022年度 収支補正予算書(案)の承認について
- 第2号議案 2023年度 事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認について
- 第3号議案 公益財団法人JK Aの補助事業の入札結果について
- 第4号議案 各種規程等の制定と一部改正について
- 第5号議案 公益財団法人 日本財団の第2回みらいの福祉施設建築プロジェクトへの応募について
- 第6号議案 管理者の任免について
- 第7号議案 定時評議員会の招集の決定について

(2) 評議員会

①日時 2022年 6月24日 10時00分 ~ 11時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

出席 評議員総数7人 6名出席、1名欠席

審議事項

- 第1号議案 2021年度 貸借対照表(案)及び収支計算書(案)、財産目録(案)の承認について
- 第2号議案 社会福祉充実計画の承認について

報告事項

- (1)令和3年度 事業報告書について
- (2)公益財団法人JK Aの補助金交付決定の受諾と補助事業の実施について
- (3)公益財団法人JK Aの補助事業の契約と業者選定について

②日時 2023年 3月27日 10時00分 ~ 12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

出席 評議員総数7人 6名出席、1名欠席

審議事項

- 第1号議案 2022年度 収支補正予算書(案)承認について
- 第2号議案 2023年度 事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認について

報告事項

- (1)公益財団法人日本財団の第2回みらいの福祉施設建築プロジェクトへの応募の件

(3) 監事監査

2022年 6月 2日

障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

監事2名全員出席

審議事項

令和2年度本部・就労継続支援B型事業・居宅介護支援事業・相談支援事業・通所介護事業・収益事業の決算報告(案)、事業報告(案)と財産目録(案)、社会福祉充実計画の確認と監事監査チェックリストに沿った監査

(4) 内部監査

2022年 6月 2日

障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

石川 美鈴 理事

審議事項

会計経理自己点検表に沿った監査

(5) 報告事項

◎指導部

1. 松永作業所

〈施設行事〉

7 / 7

七夕会を実施した

11 / 4

遠足で八天堂(三原市)に行きクリームパンを作る

1 / 4

神村八幡神社へ徒歩で行った。みんなで餅つきをして御汁粉を食した。

〈施設実習〉

6 / 15・16

川崎医療短期大学の1年生2名が実習した。

8 / 16～25

広島県立大学の2年生2名が実習した。

8/29～ 9/

広島県立大学の2年生1名が実習した。

10/24～28

龍谷大学の3年生1名が介護等体験をした。

〈臨時休業〉

9/20 (PM) ～ 22

コロナ感染拡大のため作業所を閉鎖した。

〈健康診断〉

9/5～10 身体測定等を実施した。

〈避難訓練〉

6/ 8 徳島作業所と合同避難訓練を実施した

6/22 防犯訓練を実施した

11/ 8 徳島作業所と合同避難訓練を実施した

〈グループ別活動〉

4/ 3 (花見会)、 4/ 9 (一日作業)、5/7 (半日作業)、
5/14 (一日作業)、 5/21 (半日作業)、 5/28、
6/11 (一日作業・誕生日会)、 7/ 2 (半日作業・誕生日会・班別懇談会)、
7/16 (半日作業・かき氷・班別懇談会)、
8/ 6 (半日作業・誕生日会)、 8/20 (ボーリング大会)、
9/ 3 (半日作業会)、
9/10 (一日作業・誕生日会)、10/ 1 (半日作業)、10/
8 (一日作業・誕生日会)、10/15 (半日作業)、10/22、
11/12 (一日作業)、11/19・26 (半日作業)、12/
3 (半日作業)、12/10 (一日作業)、12/24 (クリスマス
コンサート (自治会主催)・誕生日会)、12/28 (大掃除・忘年
会)、 1/14 (一日作業・誕生日会・班別懇談会)、 1/28
(半日作業・班別懇談会)、 2/ 4 (半日作業)、 2/18、

〈自治会・クラブ活動〉

6/11

〈職員研修〉

施設内

4/26 16:30~17:00

「緊急時対応 その時私はどう対応したか」

参加者 18名

講師 井出寛敬

場所 松永作業所 本館食堂

施設外

4/25

「新型コロナウイルス感染症クラスター発生事例を踏まえた感染防止対策等に関する研修会」

広島県 障害者支援課

WEB研修

管理者 森迫一成

4/25

「健康経営をステップアップ

—具体的な施策を知り、より強い組織へ—」

広島県

WEB研修

事務長 井出恵美子

5/27

「給食施設研修会」

福山市保健所

WEB会議

管理者 森迫一成

6/14

「ダウン症について、学びませんか」

広島県知的障害者福祉協会

WEB研修

会計責任者 細谷沙由里

6/17

「広島県知的障害者福祉協会 福山・府中圏域会議」

広島県知的障害者福祉協会
WEB会議
管理者 森迫一成

6/23

「社会福祉士実習指導者 事前面談会」
福山平成大学 福祉健康学部 福祉学科
福山平成大学3号館
管理者 森迫一成

6/24

「福祉施設・事業所の災害対応研修」
広島県社会福祉協議会 社会福祉研修センター
WEB研修
管理者 森迫一成

6/28

「第1回生産活動・就労支援部会 施設長会議」
広島県知的障害者福祉協会
WEB会議
管理者 森迫一成

7/12

「安全運転管理者等講習」
広島県公安委員会
広島県民文化センターふくやま
統括 井出和人

7/13

「令和4年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」
福山市障害福祉課
WEB研修
会計責任者 細谷沙由里

8 / 2

「令和4年度 OJT推進研修」

広島県社会福祉協議会 社会福祉研修センター

WEB研修

生活支援員 瀧安雄太

9 / 8・9

「第33回全国グループホーム等研修会」

日本知的障害者福祉協会

WEB研修

会計責任者 細谷沙由里

9 / 16

「ソーシャルワーク実習Ⅰ・学内実習」

広島県立広島大学、福山大学

WEB研修

生活支援員 瀧安雄太

9 / 21・22

「防火管理新規講習」

日本防火・防災協会

ベイトウン尾道

会計責任者 細谷沙由里

9 / 22

「社会福祉法人 研修会」

日本公認会計士協会 中国会

WEB研修

統括 井出和人

(報告は別紙資料参照)

9 / 28

「基礎から学ぶインボイス制度」

広島県就労振興センター

WEB研修

事務長 井出恵美子、会計責任者 細谷沙由里

9 / 28

「広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者
更新研修 演習ファシリテーター研修」

社会福祉法人 尾道さつき会

WEB会議

管理者 森迫一成

11 / 12

「令和4年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程チ
ームリーダーコース」

広島県社会福祉協議会

WEB研修

生活支援員 瀧安雄太

11 / 10

「ソーシャルワーク実習Ⅰ・学内実習」

公益財団法人 公益法人協会

WEB研修

出納職員 井出海夕

11 / 17

「令和4年度 第1回研修会・ネットワーク会議」

福山市障がい者総合支援協議会

WEB会議

管理者 森迫一成

11 / 29

「令和4年度 指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

広島県障害者支援課

WEB会議

管理者 森迫一成

12 / 1

「令和4年度 リスクマネジメント研修(経営者・管理職対応)」

広島県社会福祉協議会

WEB研修

統括 井出和人

12 / 6

「社会福祉法人 天和会 前理事長 竹内春美 告別式」

社会福祉法人 天和会

福山ニューキャッスルホテル

統括 井出和人

12 / 23

「業務効率化のためのタイムマネジメント研修」

広島県社会福祉協議会

WEB研修

生活支援員 瀧安雄太

12 / 26

「福山・府中圏域会議」

広島県知的障害者福祉協会

WEB研修

管理者 森迫一成

1 / 4～31まで配信

「令和4年度 広島県障害者虐待防・権利擁護研修」

広島県

WEB研修

管理者 森迫一成

1 / 13から配信

「令和4年度 感染症予防対策に係る説明会」

福山市障害福祉課

WEB研修

管理者 森迫一成

1 / 20

「労働契約等解説セミナー」

ランゲート(株)

WEB研修

事務長 井出恵美子

2. 徳島作業所

〈土曜日の一日作業〉

4 / 2・9、 5 / 7・14・21・28

〈グループ別活動〉

6 / 11 (一日作業・誕生日会)、 7 / 2 (一日作業)、
7 / 16 (一日作業)、 8 / 20 (一日作業)、 8 / 27 (一
日作業)、 9 / 3 (一日作業)、 9 / 10 (一日作業)、 1
0 / 1 (一日作業)、 10 / 8 (一日作業)、 11 / 5 (一
日作業)、 11 / 26 (一日作業)、 12 / 3・10・24 (一
日作業)、 1 / 4・14・28 (一日作業)、 2 / 4・
18 (一日作業)

〈避難訓練〉

6 / 8 松永作業所と合同避難訓練を実施した

11 / 8 松永作業所と合同避難訓練を実施した

〈職員研修〉

施設外

7 / 13

「令和4年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

福山市障害福祉課

WEB研修

管理者 吉岡幸彦

8 / 16

「第6回定期総会」

福山市地域福祉貢献活動協議会

WEB会議

管理者 吉岡幸彦

11/29

「令和4年度 指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

広島県障害者支援課

WEB会議

管理者 吉岡幸彦

1/16～ 2/10まで配信

「令和4年度 福祉施設・事業所のクレーム対応研修」

広島県社会福祉協議会

WEB会議

管理者 吉岡幸彦

1/22

「令和4年度 高次脳機能障害研修会」

広島県リハビリテーション講習会実行委員会

WEB会議

生活支援員 井出寛敬

3. まつなが総合生活支援センター さぼーと

〈施設実習〉

9/16～10/ 1

尾道福祉専門学校1年生2名が実習した。

10/14～11/ 1

尾道福祉専門学校1年生3名が実習した。

〈避難訓練〉

11/ 8 デイサービスセンターさぼーとが実施した

11/16 グループホームさぼーとが実施した

〈職員研修〉

施設外

9/22、27

「業務改善力向上研修」

広島県社会福祉協議会

WEB研修

介護職員 佐藤有子

10 / 4 ~ 6

「国際福祉機器展」
全国社会福祉協議会
東京国際展示場
デイ管理者 井出智大

11 / 29

「令和4年度 指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」
広島県障害者支援課
WEB会議
GH管理者 細谷沙由里

12 / 9

「介護事故に係るリスクマネジメント」
福山市介護保険課
WEB研修
デイ管理者 井出智大

12 / 17、1 / 24、2 / 10

「令和4年度 介護職員技能等向上研修」
福山市介護保険課
WEB研修
介護職員 神原光華

12 / 20 ~ 23

「令和4年度 社会福祉法人経営者研修会」
全国社会福祉協議会
ロフォス湘南
デイ管理者 井出智大

1 / 26・27

「第1回全国老人福祉施設大会・研究会議」
全国老人福祉施設協議会
ライトキューブ宇都宮
デイ管理者 井出智大

4. デイサービスセンター みらくる

〈避難訓練〉

11/16 避難訓練を実施した

〈職員研修〉

施設外

12/7

「介護事故に係るリスクマネジメント」

福山市介護保険課

WEB研修

管理者 岩川千晶

5. グループホームびすけっと

〈避難訓練〉

11/27 地域防災訓練に参加した

◎事務部

〈事務処理〉

3/18 昇格・昇進等規程の昇格の面接審査基準を別紙資料のように理事長が内規として定めた。

3/30 デイサービスセンターさぼーとの管理者が新型コロナウイルス感染症に感染し4/10まで特別休暇にて休む。

家庭内感染だったので事業所内でのクラスター発生までにはいたらなかった。また、さぼーと職員は県のPCR検査を受診し全員陰性であった。

3/31 デイサービスセンターさぼーと機能訓練を中心に業務委託契約をしていた訪問看護ステーションすまいるとの契約を完了した。期間中の活動については別紙資料参照。

4/8 各事業所職員は新型コロナウイルス感染症の広島県PCR検査を月1回以上受診することとした。

4/22 松永作業所の迎用車両整備事業で令和3年度NHK歳末たすけあい配分金650,000円の入金があった。

4/28 相談支援事業所の管理者が新型コロナウイルス感染症に感

染し5/10まで特別休暇にて休む。

家庭内感染だったので事業所内でのクラスター発
生までにはいたらなかった。

- 4/30 自立支援型共生ホームさぼーとに入居申し込みが
あった杉原忠さんが入居した。(別紙資料参照)
- 6/22 居宅介護支援事業所さぼーとのケアプラン点検が
行われた。
- 7/9 ふようの家まつり(わいわいフェスタ)を規模を縮
小(ゲームのみ)して行った。
- 8/29 デイサービスセンターさぼーとの特殊浴槽の設置
工事が行われ無事完了した。
- 9/13 日本財団に第2回 日本財団みらいの福祉施設建
築プロジェクトの申請書を提出した。
- 10/1 全事業所においてアルコール検知器による運転前
検査を開始した。
- 10/18 日本財団より第2回 日本財団みらいの福祉施設
建築プロジェクトの審査結果が届きこの度は
見送られることとなった。
- 11/1 神原光華さんをデイサービスセンターさぼーとの
介護職員として常勤採用した。
- 11/1 全事業所において毎年恒例の45月間としてチェ
ックリストに沿って1ヶ月かけて清掃をした。全
職員の協力で美化に努めることができた。
- 11/4 ひろしま企業健康宣言 健康づくり優良事業所と
して職員の健康増進のために松永作業所において
全職員を対象に夕方よりバーベキューを実施した。
- 12/13 グループホームさぼーとの福山市障害福祉課によ
る実地指導を受けた。(結果は別紙資料参照)
- 12/22 法人本部の福山市福祉総務課による指導監査を受
けた。
- 12/29 松永作業所と徳島作業所が年末年始の休みに入る。
- 12/30 デイサービスセンターみらくるが年末年始の休み
に入る。
- 12/31 居宅介護支援事業所・相談支援事業所・デイサー
ビスセンターさぼーとが年末年始の休みに入る。

- 1 / 4 全事業所が仕事始め。
- 2 / 6 徳島作業所の生活支援員として渡辺王憲さん（元職員）を採用した。
- 2 / 7 徳島作業所の生活支援員 渡辺王憲さんが地域の民生委員としての活動申請を許可した。（別紙資料参照）
- 2 / 16 徳島作業所の生活支援員として長谷川大さんを採用した。

〈保護者会〉

4 / 2、 6 / 11、 11 / 12、 3 / 11

〈理事長職務執行状況〉

2023年 3月23日に定款第20条第3項により4箇月を超える間隔で理事長の職務執行状況を報告する必要があった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため理事会が開催できなかったためこの度でまとめて報告します。

以上

松永作業所

2022 年度事業報告

年度当初 46 名（定員 40 名）でスタート。新規契約 1 名、終了契約 0 名で年度中 1 名増であった。利用総数 9,677 名、1 日利用平均 35.8 名、出席率 89%で、3 年続けての減少となった。これは新型コロナウイルス感染拡大によるものであり 7~8 月の第 7 波、11~2 月の第 8 波などが大きく影響した。それ以外にも長期欠席者が数名おり、電話・訪問で状況確認しつつ、出席を促したが出席には至らなかった。その中で利用者数の推移を見ながら来年度は利用定員 40 名を遵守していく。

送迎は利用総数が減少したにも関わらず、昨年度とほぼ同じ利用状況で以前送迎ニーズが高いことを示した。

生産（作業）活動の菓子製造では原材料の高騰に合わせ新たな商品開発により販売価格を見直し、菓子販売先を開拓。インスタグラムを開始、行事報告を併せて PR できた。また、草刈りや草取り作業に加え地域の公園清掃を受託。清掃中、住民から差し入れを頂くなど地域交流の機会にもなった。また、ゴミ出し支援を資源回収と合わせ実施するも対象者の入院等により活動中止となるも 2 月に 1 件受諾。今後も包括等から依頼有れば支援する。

年間就労収入は 2 月末時点で約 740 万円で昨年度とほぼ同額。年 2 回のボーナスも支給できた。次年度も収入アップを目指し県内 B 型作業所月額平均工賃 16,000 円に少しでも近づきたい。

求職活動では一般就労希望者の出席状況が芳しくない上に、本人に合った職種が見つからないなどで求職活動・職場実習まで至らなかった。今後も就労希望を確認、希望者に対してネットの求人情報提供や就労支援セミナー（研修）、作業を通しての就労スキル取得・定着を図っていく。

生活技術習得ではグループ別活動の調理、作業後の清掃・洗濯、さぼーと清掃作業などの機会を提供。ニチエー瀬戸店での資源回収で接客マナー習得の機会も持てた。

季節ごとの花見会や忘年会などの行事もコロナの影響で規模を縮小して実施。車分乗での広島空港方面への日帰り遠足ではパン作りなど施設外での数少ない社会・生活体験機会となった。

わいわいフェスタは作業所近隣住民や利用者などを対象に感染対策を図りながら 3 年ぶりに小規模に開催。来場者は少なかったが施設開放ができた。ゲタリンピックは参加競技なく不参加。

社会福祉・介護実習や介護等体験などの実習生受入れやオンライン実習での交流機会を例年より少ないながら持つことができた。

松永小学校 5 年生との交流会はなかった。

外部研修はほとんどがオンラインであったが受講者による伝達研修を実施。職員の研鑽・レベルアップを図った。

今後も利用者・職員が協力しながら意欲的に作業・活動に取り組める環境を作り、業務改善を図りつつ、利用者が様々な活動・体験の機会を得られるように努めていく。

2022年度 松永作業所 実施行事

- 4月2日 花見散策・花見会
5月25～26日 川崎医療短大実習
5月28日 グループ別活動（調理実習、DVD・音楽鑑賞、軽スポーツなど）
6月8日 避難訓練
6月15日16日 川崎医療短大実習
6月22日 防犯訓練
7月2日 班別懇談会 家族5名参加
7月7日 七夕会
7月9日 わいわいフェスタまつなが
7月16日 班別懇談会 家族6名参加
かき氷
8月7日 班別懇談会
8月16～25日 県立広島大学社会福祉実習（2名）
8月2日 ボーリング大会
9月6～10日 身体測定
10月22日 グループ別活動（調理実習、DVD・音楽鑑賞など）
10月24～28日 介護等体験（龍谷大学1名）
11月4日 遠足（広島空港周辺）
11月8日 総合避難訓練
11月27日 遠足（世羅方面）
12月24日 クリスマス会（大正琴コンサート）
12月28日 大掃除、忘年会（松永作業所にて会食）
1月4日 初詣
1月5日 餅つき・お汁粉
1月7日 グループ別活動（調理実習、DVD・音楽鑑賞など）
1月14日 班別懇談会 家族6名参加
1月28日 班別懇談会 家族9名参加
1月20日 松永小学校5年生とオンライン交流会
1月29日 グループ別活動（調理実習、DVD・音楽鑑賞、軽スポーツなど）
2月3日 節分（豆まき）
1月末～2月10日 身体測定
2月14日 バレンタインデー
2月19日 グループ別活動（調理実習、DVD・音楽鑑賞など）
3月日 レントゲン検診
3月14日 ホワイトデー

毎月 誕生日会

- ・クラブ活動は未実施。
- ・5月東部地区親善球技大会、9月ゲタリンピックには不参加、旅行は中止

2022 年度 徳島作業所 事業報告

2022 年度の徳島作業所は、日中活動の場として利用者に働く喜びを感じてもらいつつ、一定の収入を得てもらえるよう各利用者工賃の維持、それに伴う作業量の確保と新たなスキルを習得できる作業の開拓、そして、落ち着いて利用をしてもらえる環境づくりを心がけ、1 日平均利用 18 人の維持を目標に取り組んだ。

2022 年度の新規受け入れについては 2 名だったが、利用終了者は 6 名と多くなった。体調面で利用を継続できない方や他事業所への変更などもあったが、就労移行事業所へのステップアップできた方がいたことは事業所としてもうれしいことであった。今後も就労意欲のある人についてはステップアップが目指せるよう作業スキルの習得にも力を入れて支援していく。

今年度の利用者数についてはコロナ禍ではあったが、前年比約 99% の 27 人減と、大きく崩れることなく利用人数を確保できた。利用人数減少の要因としては就労移行事業所や他事業所への変更者がいたこと、また入院などの事例が重なったことが要因として考えられるが、コロナ集団感染等の事例を出すことなく終えることができた。年度の後半以降はコロナ感染も落ち着きをみせ、数年自粛していた忘年会や初詣などの行事が開催でき、利用者と一緒に楽しい時間を共有できた。引き続き、各利用者が利用しやすい環境づくりを心がけ、精神的に安定して利用できるよう職員間で情報共有を行いながら支援にあたっていく。

また、工賃収入面では、前年比約 108% アップして終えることができた。前年同様、既存の企業との関係を維持し、新しい作業を積極的に受け入れてきたことが工賃収入増につながっている。ただ、繁忙期には作業量が多くなり、利用者、職員共に作業の負担が大きかったことが今後の課題になってくる。働く喜びと新しい作業への挑戦、そして少しでも多く収入を得たいという利用者の思いに応えられるよう、今後はより工賃単価の高い作業の確保、利用者の作業能力の向上を目指し、作業の量から質への変更を模索していきたい。

2023 年度は事業所としての強みと弱みをしっかり共有し、強み強化への下地づくりの年としたい。具体的には作業内容の質向上、利用者の作業能力の向上を目指し、頑張った分しっかり工賃が稼げる体制づくりを行っていく。そして、利用者の満足度の向上を目指し、選んでもらえる事業所づくりができるよう、職員間でのコミュニケーションを大切に、いろいろなアイデアを取り入れていきたい。

2022年度 相談支援事業所さぼーと事業報告

1. 契約者について

今年度は14名と新規契約を結んだ。9名のサービス中止や介護保険への移行などを経て年度当初155名であった利用者は160名となっている。

2. 計画相談支援業務について

計画相談の一連の流れの中で、本人や家族に状況変化があった場合など必要に応じてニーズや課題を考慮しながらサービス等利用計画の変更等を行ったが、対応可能なサービス提供事業者がなかなか見つからないケースもあり広い視野での社会資源の開拓や先を見据えた支援の必要性を感じている。

モニタリング実施期間短縮により一人当たりとの面談機会が増え困難ケースへの対応や各種相談対応への時間確保の重要性が高まっている中、基幹相談支援センター等との連携により抱え込みの回避を行った。

65才を迎えるなど介護保険サービスに移行していくケースに関しては、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）と連携し、利用者・およびその家族に負担・不安のないように配慮した。

相談支援事業所連絡会（松永・沼隈地区ブロック会議含む）に定期的に参加し、地域課題の共有・解決に努めるとともに、可能な範囲で地域生活支援拠点の整備に参画した。

コロナ感染症リスクを考慮し、可能な範囲で接触機会削減等に努めた。

3. 来年度について

契約人数の拡大に向けて、近隣事業者・医療機関との関係強化を図っていく。

引き続き本人や家族等の状況把握に努めるとともに、一人暮らしで食生活などに支援が必要な利用者に対して、居宅支援（ヘルパー）の導入を促したり居住先の情報提供などを実施していく。

引き続き近隣の相談支援事業所等と連携しながら地域生活支援拠点の整備事業に可能な範囲で対応していく。

精神障害者支援と就労支援を強みとした事業所として周知を図っていく。

2022年度 グループホームさぼーと 事業報告

利用者が地域において共同して自立した日常生活や社会生活が送れるよう、利用者の置かれた状況に応じた援助を行い、経営理念である「自立した暮らしを応援します『for your good life』」に基づいた支援を行うべく事業を継続してきた。

2022年度は利用者5名の利用者が利用した。各利用者に自立した生活を送ってもらうため、一人でできることを増やしてもらうために必要な支援を日々考えながら業務にあたった。また新型コロナウイルス対策として検温や体調管理、食堂へのアクリル板設置など基本的な感染対策を引き続き徹底した。その中でも新型コロナの影響を受けながらも職員配置等に苦慮しながら運営を行うことができた。

今年度も新型コロナの影響で行事等は行えなかったが、火災、津波を想定した避難訓練や職員不在時を想定しての避難訓練も実施できた。今後も職員、利用者ともに日ごろからの防災意識の向上に努めていきたい。

毎月世話人会議を実施し、利用者の状況について情報共有を行った。そのなかでも課題はまだまだあるように感じた。やはり、多くの情報収集を行い、情報共有のスピード化等を図っていく必要がある。

今後も利用者一人一人に必要な支援が提供できる体制を整え、利用者やすい環境づくりを行い利用者満足度の向上に努めていきたい。

2022年度 ショートステイさぼーと 事業報告

利用者の身体及び精神の状況や置かれている状況に応じて相談、入浴、排泄又は食事の提供、その他必要な保護を適切かつ効果的に行うことを目的に、グループホームさぼーとの併設事業所として設置されたが、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、今年度も実働には至っていない。

来年度は事業の実働ができるよう他機関への案内を強化するとともに、受け入れ職員体制を整えて実働に向けて準備を進めて行く。

2022年度 グループホームびすけっと 事業報告

利用者が地域において共同して自立した日常生活や社会生活が送れるよう、利用者の置かれた状況に応じた援助を行い、経営理念である「自立した暮らしを応援します『for your good life』」に基づいた支援を行うべく事業を続けてきた。開設から5年目経ち、利用者は共同生活の場であるグループホームで落ち着いた生活を営むことができた1年だったように感じる。

日常生活の中で生じる問題等に関してはその都度対応し、月に一度の世話人会議でそれらの情報を共有し、適時支援が提供できるよう意見の交換を行った。業務内容に大きな変更点はなく、前年同様出来ることは自分でを行い、服薬管理、掃除洗濯等の声かけなど必要な支援を適時行ってきた。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で検温回数が増加、手洗い消毒の再徹底、食卓にアクリル板の設置など感染症対策に追われた年でもあったが、利用者から感染者を出すことなく生活できたことがなによりだと感じている。

4月より満床の状態は続いている。昨年同様余暇活動を計画していたが、新型コロナウイルスの影響でほとんど開催することができなかったが、火災と地震、洪水を想定した避難訓練を2回行った。まずは火災を起こさないことと、防災意識の向上のためにも今後も継続していく。

今年も新型コロナウイルス感染症の影響で制限が多かった1年だったが、大きなトラブルもなく落ち着いて生活できていたように感じる。引き続き利用者が安定して地域生活ができるよう必要な支援を行っていく。

2021年度居宅介護支援事業所さばーと事業報告

1. 居宅介護支援について

I. 登録者及び給付管理

本年度はケアマネ2名（常勤1名、非常勤1名）で、常勤換算1.2人の体制で実施。3月末の登録（契約）者数は要介護者41名、給付管理者数は39名、要支援者14名、給付管理者数は13名となっている。1年を通じて死亡、入所等で終了者が9名となったが、新規利用者は10名あった。

II. 居宅介護支援業務等について

本年度も独居に加え生活困窮している利用者を支援する為、包括支援センターや行政、社会福祉協議会などの関係機関と連携し支援を実施した。必要な利用者に対しては公的扶助の申請を行った。これは国の推進する「地域包括ケアシステム」とも重なっており、利用者が地域で生きていく一助として居宅介護支援を実施した。

また、コロナ禍における特有の課題（遠方家族の帰省困難による介護困難・閉じこもり傾向・孤独感・ストレスの増加、関係の悪化・適切な医療介護不足等）に対しても考慮し、家族、主治医、周辺事業所と連携を行い支援を実施した。

2. 介護予防について

積極的に包括職員や地域の民生委員と連携をはかるように努めた。徐々に緩和されつつある状況の中で、コロナ禍において地域の中で中断していた活動への参加啓発を連携をはかりながら実施している。

また、予防プランを受託し、地域の中での役割を果たせるよう努力した。その中で包括支援センターより新たな要支援者、要介護者の紹介を受けた。

3. 来年度について

小規模事業所ならではの迅速な対応かつ丁寧に、利用者個々の状況を総合的に勘案し、包括支援センター、関係機関、関係事業所、地域などとの連絡・連携を深めていく。

新生活様式の中で、高齢者が地域で孤立化していく事なく、尊厳ある生活が送れるよう継続的な支援を行う。

2022年度 デイサービスセンターさぽーと 事業報告

◎ 事業の目的に対して

利用者・家族の望む生活の実現に向けて居宅サービス計画書をもとに地域での生活が維持出来るよう、生活意欲の向上を念頭にニーズの把握、残存能力の維持・向上に努めた。

◎ 利用者の推移

契約者数 36 人（2022 年 4 月時点）→39 人（2023 年 3 月時点）。

◎ サービスの内容について

「心身ともに元気になれる場所」になるため、イベントと機能訓練に注力した。イベントでは、利用者が非日常を体験でき、単調な日々の生活に刺激を与え心が充実したものになるように努めた。

機能訓練では、理学療法士を外部より業務委託し、専門的な視点からより効果的な訓練を行い、利用者の身体機能が向上するように努めた。

◎ 来年度に向けて

理念が形骸化しないよう、常にサービス内容を見直し意義ある取り組みになるように職員全体で進めていく。現状維持に甘んじることなく、業務改善を行い事業所の新陳代謝を高めることで生きた組織であり続けるように努める。

令和4年度

デイサービスセンターみらくる

事業報告

<職員体制の変更>

介護職員：6名(常勤専従1名、常勤兼務1名、非常勤専従3名、非常勤兼務1名)

機能訓練指導員：6月末で非常勤兼務職員1名退職に伴い、非常勤専従1名7月より勤務

利用予定変更や職員休暇に応じ、デイさぽーと及び松永作業所と兼務職員への調整・変更依頼を行いながら協力体制をとっていった。

<利用者の推移>

4月は月延人数170人からのスタートとなり年間月平均167人。(最高値3月/185名)。5月、利用中断等が重なり稼働率が7割を切ったが、新規、体験および利用回数変更等に伴い他の月は稼働率7~8割を維持。

体験利用：11名(外ケアマネ：9名 内ケアマネ：2名)

新規契約者：9名(外ケアマネ：8名 内ケアマネ：1名)

終了者：7名(体調不良、逝去および他施設へ移行のため)

居宅事業所に空き状況を新聞配布や対面およびメールにてお知らせ。問い合わせがあった際(利用日変更や体験依頼について)には、人員・空き状況等勘案しながら返答していった。体調の変化等、日々と異なる場面が利用中に見られた場合等も電話で相談、報告を随時行っている。

<事業運営>

引き続き感染症対策を講じながらの事業運営となる。こまめな検温・記録、消毒や換気の励行、マスク着用(※熱中症時期は別途対応をとりながら)、三密の回避等対策を実施。職員のPCR、抗原検査受検・ワクチン接種(コロナ・インフルエンザ)及び対応研修にて認識統一も行った。

介護報酬の臨時改定に伴い、介護職員等ベースアップ等支援加算10月1日より新設。利用者およびご家族へ概要説明を行う。

研修：高齢部門合同で月1~2回実施。感染対策のためリモートでの開催も適宜行った。

介護福祉士初任者研修、介護福祉士国家試験 それぞれ1名受検。

地域交流行事(大成館中学校職場体験)、運営推進会議 今年度も中止。

避難訓練：消防隊の派遣は引き続き控えており、6月、11月とも内々での実施。

行事：本年も内々でできる内容となったが(夏祭り、運動会等)、桜や紅葉の時期にはドライブ、おやつ作りや創作活動にて日常生活動作や季節感を味わえる機会が設けられるよう企画していった。

2022年度 自立支援型共生ホームさぼーと事業報告

障がい者や高齢者が共同生活を送り、家庭的な雰囲気の中で暮らすことのより自立した生活を目指し、心身の状況に応じて可能な限り現有機能の活用を図り生活してもらう環境を提供することを目的として2022年度も運営していった。

満室でスタートした2022年だったが、利用終了等で2室空室の状態を終えた。利用者間での大きなトラブルもなく、基本的に自分のことは自分で行き、必要に応じたサービスを利用しながら自立した生活が送れている。ただ、昨年11月に居室で利用者が亡くなって数日経った状態で発見される事例があり、利用者の生活状況の確認や他のサービス利用について見直しをすることが急務となっている。今後については現状の契約書等の見直しを行い、利用者の状況が把握しやすく、また他のサービスとの連携がとれやすい体制づくりを整えていく。

来年度も引き続き利用者が安定し、自立した生活が送れるよう必要な情報提供を行い、必要に応じた介入が行えるよう情報の共有を行っていく。

2022年度 虐待防止・身体的拘束適正化検討委員会開催日時・内容

2022年4月1日～

○委員会規程、高齢・障害虐待防止マニュアル、身体拘束等の適正化のための指針を配布後、各事業所で研修実施

○各事業所にて虐待・身体拘束、ヒヤリハット、要望・苦情等の各種記録・対応を日次・週次・月次にて開始

○各会議録を全回覧

2022年4月7日

○規約、取組項目と実施頻度等の確認等、各事業所への伝達について

2022年6月

○虐待防止・メンタルヘルス・虐待発見チェックリストの実施（調査）

2022年8月9日

○事業所部会の記録及び部門ごとの虐待議事録を基に検討

・デイさぼーと：身体拘束案件（拘束着着用）は家族の希望で着用（身体拘束）中止

・松永作業所：今のところ本人落ち着き、拘束もない

○虐待防止及び発見チェックリスト、ストレスチェックの実施報告

2022年12月

○虐待防止・メンタルヘルス・虐待発見チェックリストの実施（調査）

2022年12月6日

○身体拘束案件（デイさぼーと、松永作業所）の確認

○虐待防止チェックリスト等の実施要請

2023年2月7日

○ストレスチェックリスト等の実施報告・集計、健康作り担当に集計を提供

○来年度に向けての見直し：委員会の開催を3ヶ月毎に

身体的拘束適正化検討委員会開催日時・内容

高齢部門所属課会議

2022年5月17日

○3要件の確認及び身体拘束開始の確認

2022年6月24日

○（上記）身体拘束の解除

2022年11月30日

○3要件の確認及び身体拘束開始の確認

松永作業所事業所会議

2023年2月22日

○継続中身体拘束案件の本日の様態及び拘束継続確認